



第10回 兵庫介護**老健**施設大会

…老健こそ オールマイティー… ～地域包括ケアのハブとして～

施設サービス課 北野 絵美
田中 大輔

5月14日に第10回兵老健大会が神戸ポートピアホテル「偕楽の間」にて**老健こそ
オールマイティー～地域包括ケアのハブとして～**をテーマに催され、参加して演題発表
してきました。

特別記念講演として、詩人 藤川 幸之助氏が「**支える側が支えられ、生かされていく**
～認知症の母が教えてくれたこと～」の演題で講演されました。60歳から84歳までの
24年間 過酷な認知症が進行していく**母親の介護を通じて、壮絶な苦悩と葛藤を繰り
返した体験談**を拝聴しました。**認知症の母親と向き合う日々の言葉で編みだし、人々の
心に灯をともし珠玉の詩**を生みだしました。「自分の親が、大切な人が 認知症になった時、
自分ならどうするだろうか?」「生きるとは何か?」との自問自答に「**どんな苦しみの中に
あっても、人は決して一人で生きているのではない、人は皆 誰かを支え、誰かに支えられ、
様々な関係性の中で生かされている**ことを忘れないで欲しい」という内容でした。日々
介護をする中で考えさせられる事が多くあり、貴重な時間を過ごすことができました。

